

河川

国民の生命、財産を守り、暮らしを支えるため、河川の改修や管理、河川環境の整備を進めています。
また、ダムや砂防事業などの整備の他に、渇水時には水利用の調整も実施しています。



平成2年度入省

高知河川国道事務所 建設専門官 長尾 貴史

私の役割

洪水による被害を軽減する為、水を流す全長5.3kmの日下川新規放水路トンネルを作る工事の監督を行っています。

変わる実感

地域が良くなり地域が大きく変わっていく。そんな故郷を支える事業に関われることは嬉しく誇りに思えます。

現場を支える

工事の施工に関わる全員が事故無く完成出来るように、安全第一という目で日々現場を見ながらやっています。

河川改修事業



洪水時に河川から水があふれでないように堤防の整備や強化、河道の掘削等を実施します。

砂防事業



土砂崩れや土石流による被害発生の危険から地域を守るため、砂防ダムの整備等を実施します。

海岸事業



高潮・越波による被害を防ぐため、離岸堤や突堤、養浜等の対策を実施します。

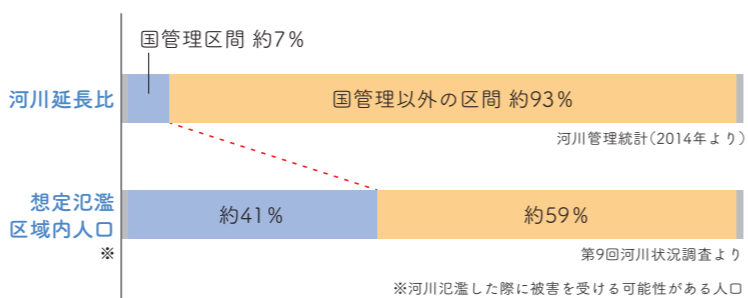
ダム建設事業



洪水被害を軽減するとともに、日常の豊かな水利用や流水の正常な機能を維持するために必要となるダムの建設を進めています。

国が整備する河川が担う役割

国は、人口や資産が集中している地域を災害から守っている!!



南海トラフ地震への備え

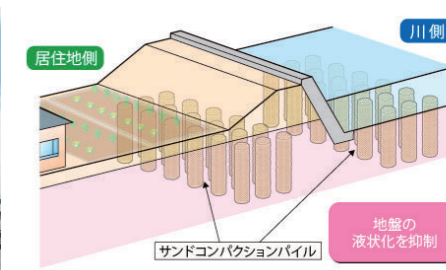
【河川改修事業】 南海トラフ巨大地震等の発生が予想されており、液状化による堤防沈下や津波による浸水被害の軽減を図るため、堤防の嵩上げ及び液状化対策等を実施します。



樋門の耐震化



施工状況 (サンドコンパクションパイル工法)



液状化対策の例 (イメージ図)

【海岸事業】 高知海岸では、南海トラフ巨大地震等により甚大な津波浸水被害が想定されるため、海岸堤防の液状化対策を実施しました。

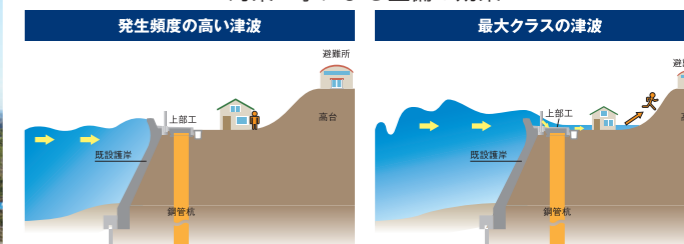


施工状況



完成

＜対策工事による整備の効果＞



地震による揺れや沈下等が発生しても比較的発生頻度の高い津波による浸水被害を防ぎ、海岸堤防の機能を確保します。また、最大クラスの津波に対しても以前の海岸堤防に比べ壊れにくくなるため、避難時間をかせぐことができます。

総合水系環境整備事業 (自然再生・かわまちづくりの取り組み)

河川の良い環境の保全・復旧および河川やダムの水辺空間を活かしたレクリエーションの場を創出するための環境整備を実施します。



旧吉野川自然再生事業 (津慈箇所)



脇川かわまちづくり (第1期)

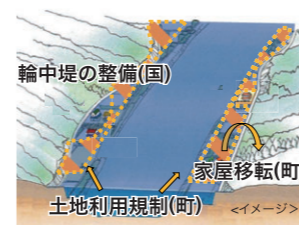


早明浦ダム周辺地区かわまちづくり

流域治水の取組

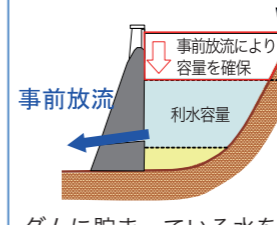
気候変動の影響や社会状況の変化を踏まえ、集水域・河川区域・氾濫域を1つの流域として捉え、地域の特性に応じ、あらゆる関係者が協働して、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」に取り組んでいます。

【家屋移転・土地利用規制】



吉野川 半田・毛田箇所 (徳島県 つるぎ町)
土地利用規制(町) <イメージ>

【既存ダムの活用】



ダムに貯まっている水を予め放流することで、洪水時に下流に流れる水を減らすための容量を確保。

